

左右チャンネル及び電源部独立の 3筐体による超高音質コントロールアンプ

【協同電子エンジニアリング株式会社】

【特徴】 Phasemation CA-1000 コントロールアンプ

コントロールアンプとは？

オーディオシステムを構成する機器の中でLPレコードやCDその他の音楽ソースを選択し、音量を変化させる機能を主目的とする機器を言います。

超高音質を実現するための主な課題と対策

I. 世界初、L/R独立アンプ部、電源+制御部の計3筐体構成によるノイズ対策。

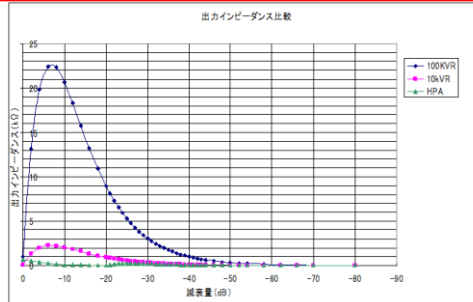
デジタル制御部をアンプ部から独立させ、電源部と一体とすることで、デジタルノイズのアンプ部への混入や電源トランスが発生する振動、磁気ノイズ等を防止し、高S/Nを確保すると同時にL/Rアンプ部を独立筐体とすることでチャンネルセパレーション無限大、空間表現を極限まで追求しました。

II. 音質劣化のない音量調整回路と、リモコン対応。

当社独自の特許技術※ハイブリッドアッテネータの音量切替接点に48個のリレーを採用し、8×6のX-Yマトリックス制御するアルゴリズムを最適化することで音質劣化が無く、切り替えノイズも無い音量調整回路でリモコンも可能としました。

※特許取得 2009年9月 特許第4376240号
(特徴)

抵抗式アッテネータにコイルを併用することで入力インピーダンスは常に50kΩ以上を確保し、出力インピーダンスは常に250Ω以下としたことにより、信号電流による電力損失を抑え、低音量でも音が痩せず、音質劣化の無い音量調整回路。
(緑; 本回路、青; 50kΩ VR、赤; 10kΩ VR)



上記の特徴の集合によりアンプの存在を意識させないほどの圧倒的な臨場感、見通しの良いステージ再現、そして豊かな音楽性を体験することができます。

【効果】

I. オーディオ関係雑誌による評価

- 1.ステレオサウンド誌 年間グランプリ受賞
- 2.Analog誌 年間グランプリ金賞受賞
- 3.無線と実験誌 年間テクノロジー大賞受賞

CA-1000外観⇒

II. 出荷台数(7月3日時点)

国内出荷台数 3台 海外出荷台数 3台 (今期販売目標達成)



各種雑誌の評価、試聴機の国内外への貸出等により出荷も順調に推移、来期目標を10台以上としてPhasemationの主力製品への成長が期待出来、ブランドカアップによるPhasemation製品全般の売上高の底上げに寄与出来ます。